

第4回 能登半島絶景海道の創造的復興に向けた検討会

議事要旨

日 時 : 令和7年10月1日(水) 10:15~12:00

場 所 : 能登復興事務所 4階 会議室

出席者 : (会場)

有識者委員 : 藤生委員長、片桐委員、刀祢委員

行政委員 : 石川県 道路建設課、石川県 道路整備課、
北陸地方整備局

事務局 : 石川県 道路建設課、石川県 道路整備課、
能登復興事務所、金沢河川国道事務所

(WEB)

有識者委員 : 山中委員、臼井委員、竹内委員

行政委員 : 石川県 観光戦略課、七尾市、輪島市、珠洲市、
羽咋市、志賀町、穴水町、能登町

事務局 : 奥能登土木総合事務所、中能登土木総合事務所

議事概要(各委員からの主な意見)

<新たな取り組みの状況に関する意見>

- ・取り組みについて、概要だけでなく、参加者の声や反響なども記載した方がよい。
- ・参加者の居住地や、移動手段等を整理することで、今後の取り組みにつながるのではないかな。
- ・今後、サイクルイベントをさらに波及させていくことが重要。イベントの開催状況を動画やビデオクリップで情報発信するほか、参加者からのコメント等を載せるなど、拡大につながる仕掛けづくりが必要。
- ・能登半島絶景海道でも「くるっと石川」のような電動アシスト自転車を対象としたモデルコースを設定することが重要ではないか。自転車関連はサイクリスト目線の取組が多いが、電動アシスト自転車のコースなど普通の人でも楽しめるような取組も必要。
- ・空飛ぶ車は災害時の活用その他、絶景箇所を上空(ヘリコプターよりも低い

高度) から見ることができ、観光面でも活用できるのではないか。

＜ロゴマークに関する意見＞

- ・一般投票での得票数と委員の意見を踏まえ、能登半島絶景海道のロゴマークは、案④を採用する。
- ・能登半島を表現する際に「のとギリシマツツジ」をイメージした赤色を使うことが多い。色の選択肢を増やしてはどうか。

＜基本方針に関する意見＞

- ・4本柱のタイトルと内容が合っていないように感じる所もあり、タイトルの表現等を再考してはどうか。
- ・基本方針「2. 人が集まる「道の駅」へ」「4. 風景街道が“おもてなし”」の取り組み内容が国内向きに感じる。インバウンド的な要素を追加してはどうか。
- ・「取り組みの概要」と「取り組みスケジュール」の対応がわかりやすくなるように対応番号を追記してはどうか。
- ・関係人口の増加を見据えた取り組みを追記してはどうか。
- ・メモリアルパーツと震災遺構は別物のように感じる。分けて整理した方が良いのではないか。
- ・「周遊観光道路の復旧・整備」について、“景観に配慮した整備”を追記してはどうか。
- ・標識、案内看板への記載について、能登半島の“最先端”へ行けることを表示してはどうか。
- ・サイクリスト、モーターサイクルライダーが併記されているが、それぞれのニーズが異なるため、分けて整理するべき。
- ・「いしかわ里山里海サイクリングルートのナショナルサイクルルート（NCR）指定を目指した取り組みの推進」と記載があるが、NCR 指定に向けた取り組みは、別項目で既に記載されていると考えるが、該当項目は能登半島絶景海道以外を示しているのか、わかりやすく記載するべき。
- ・いしかわ里山里海サイクリングルートの中には能登半島絶景海道を示すルー

トはないが、能登半島絶景海道も追加する場合には、分岐点などで迷わないようなサインシステムが重要。

- ・SSTR（サンライズ・サンセット・ツーリング・ラリー）との連携を方針に明記してはどうか。

以 上